

## 八潮市協働のまちづくり推進事業助成金実績一覧

年度	団体名	代表者名	事業の名称	実施予定日	場 所	事業申請				実績報告		
						予算額	助成金 交付申請額	事業概要	助成金 交付決定 額	決算額	助成金 交付確定額	事業の成果
06	伊草団地の大きな輪	御厨 恵子	地域交流サロン事業「みんなの広場」	令和6年8月～12月	伊草団地及び周辺地域	73,000	50,000	<p>■目的 住民の安心と安全、そして福祉の増進を図る。</p> <p>■実施予定日 令和6年8月～12月</p> <p>■内容 災害時に自主避難が困難な高齢者や障がい者の避難行動について、3回の防災講座を通じて考える。 ①「地域福祉計画」から災害時の支援計画を学ぶ ②「クロスロードゲーム」を実施、課題が何か知る ③「災害に備えた要援護者支援」の取組みを考える</p>	50,000	66,359	50,000	<p>■目的 住民の安心と安全、そして福祉の増進を図る。</p> <p>■開催日時 令和6年8月27日(八潮市第3期地域福祉計画に関する研修会) 令和6年11月5日(災害時の健康とトイレの問題について考える出前講座) 令和7年2月9日(クロスロードゲームで人と人をつなぐ地域の活動)</p> <p>■内容 災害時に自主避難が困難な高齢者や障がい者の避難行動について、3回の防災講座を通じて考える。 ①「地域福祉計画」から災害時の支援計画を学ぶ ②「クロスロードゲーム」を実施、課題が何か知る ③「災害に備えた要援護者支援」の取組みを考える</p> <p>■事業の成果 つながりのないことの問題や、普段から顔のみえる関係づくり、市民がボランティアとして地域貢献をすることの必要性を参加者へ伝えることができた。周知にあたっては、近隣町会の協力もいただき、団体外の参加者も多く参加いただけた。</p>
	子ども応援団・結	木下 泰伸	体験型安全教室とインクルーシブ防災について考える	令和6年7月1日～令和7年2月28日	八潮市内	165,014	100,000	<p>■目的 ・大地震が発生したその時、自分の命を守るために必要なことを教え、危機を疑似体験することでいざという時に行動できるようにする。</p> <p>・福祉団体と協力し、インクルーシブ防災を考える。</p> <p>■実施予定日 令和6年7月1日～令和7年2月28日</p> <p>■内容 ・簡易的な街並みを用いた疑似的な危機体験 ・多団体や災害ボランティア経験者に依頼し防災の実態について報告会を開催 ・集客イベントや協力団体の紹介等の場を開催</p>	85,000	232,902	85,000	<p>■目的 八潮市の安心安全のために、防災を考え、つながりをつくる</p> <p>■開催日時 令和6年11月10日(日)</p> <p>■内容 ・体験型地震教室 ・インクルーシブ防災を考える座談会 ・協力団体のワークショップ、手作りゲームコーナー、BIGお絵描きコーナー、防犯教室背景の展示、段ボールベッド体験等</p> <p>■参加者数 480～600人(推定)</p> <p>■事業の成果 イベントのチラシを市内小・中学校、幼・保育園、各所に配布したことにより、子ども応援団・結だけでなく、協力団体についても知ってもらうことができ、団体とのつながりも強くなったと考える。 当時はたくさんの方に来場いただき、アンケートによる評価もよかったです。防災や防犯など八潮市の安心安全を考えるきっかけづくり、また、八潮市のまちづくりに熱心な団体との縁づくりになれたと思う。</p>
	ひまわりプロジェクト	鷹野 民良	ひまわりで防災や環境の大切さを伝える	令和6年7月1日～令和6年10月31日	八潮市内	120,000	80,000	<p>■目的 防災の必要性や生ごみについて考えるきっかけをつくり、住みやすいまちづくりに貢献する。</p> <p>■実施予定日 令和6年7月1日～令和6年10月31日</p> <p>■内容 自分たちで育てたひまわりと一緒に阪神淡路大震災伝承の「はるかのひまわり」や堆肥づくりなどを紹介</p>	65,000	92,560	65,000	<p>■目的 防災の必要性や生ごみについて考えるきっかけをつくり、住みやすいまちづくりに貢献する。</p> <p>■開催日時 令和6年8月8日(NOZOMI夏祭り) 令和6年10月27日(やしお市民まつり) 令和6年11月10日(結まつり)</p> <p>■内容 自分たちで育てたひまわりと一緒に阪神淡路大震災伝承の「はるかのひまわり」や堆肥づくりなどを紹介</p> <p>■事業の成果 8月8日「NOZOMI夏祭り」にてひまわり100本とチラシの配布 10月27日「やしお市民まつり」にてひまわり200本とチラシの配布 11月10日「結まつり」にてひまわり90本とチラシの配布 どのイベントでもひまわり配布は喜ばれ、啓発に努められた。イベントに合わせひまわりを育てることができ、活動に自信と意義を持つことができた。</p>